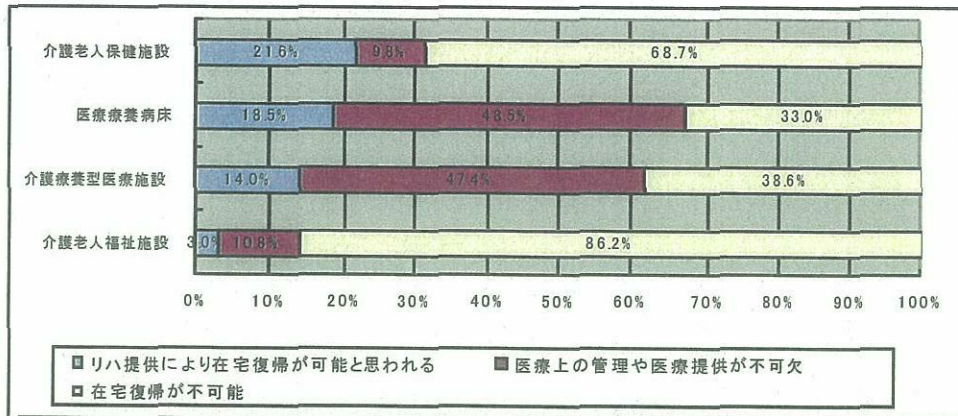


関連の他介護保険施設等の状況

Q2-2)6月1日現在の入所者を、利用者の入所目的にかかわらず、以下のア～ウの施設機能分類のいずれかにあてはめた場合、各分類にあてはまると考えられる利用者はそれぞれ何人ですか？



各施設の集計母数(N=有効回答として採用した調査データ)

	介護老人福祉施設	介護療養型医療施設	医療療養病床	介護老人保健施設
入所(院)者数	7,809名	4,495名	8,569名	86,839名
施設数	97施設	67施設	142施設	1,037施設

療養病床再編と介護老人保健施設のあり方に関する緊急調査(全老健 平成18年8月)

(参考)

介護老人保健施設の理念と役割

介護老人保健施設は、利用者の尊厳を守り、安全に配慮しながら、生活機能の維持・向上をめざし総合的に援助します。また、家族や地域の人びと・機関と協力し、安心して自立した在宅生活が続けられるよう支援します。

1. 包括的ケアサービス施設

利用者の意思を尊重し、望ましい在宅または施設生活が過ごせるようチームで支援します。そのため、利用者に応じた目標と支援計画を立て、必要な医療、看護や介護、リハビリテーションを提供します。

2. リハビリテーション施設

体力や基本動作能力の獲得、活動や参加の促進、家庭環境の調整など生活機能向上を目的に、集中的な維持期リハビリテーションを行います。

3. 在宅復帰施設

脳卒中、廃用症候群、認知症等による個々の状態像に応じて、多職種からなるチームケアを行い、早期の在宅復帰に努めます。

4. 在宅生活支援施設

自立した在宅生活が継続できるよう、介護予防に努め、入所や通所・訪問リハビリテーションなどのサービスを提供するとともに、他サービス機関と連携して総合的に支援し、家族の介護負担の軽減に努めます。

5. 地域に根ざした施設

家族や地域住民と交流し情報提供を行い、さまざまなケアの相談に対応します。市町村自治体や各種事業者、保健・医療・福祉機関などと連携し、地域と一体となったケアを積極的に担います。また、評価・情報公開を積極的に行い、サービスの向上に努めます。